

2024年9月20日

カーボンニュートラル実現に向けて、CCS用CO₂出荷タンク設備を開発！ 2025年春からの発売開始を予定

日本酸素ホールディングスグループの日本産業ガス事業会社である大陽日酸株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：永田 研二、以下 当社）は、カーボンニュートラル（CN）社会実現に向けて、当社工業ガス製品貯蔵タンクの製品ノウハウを活かし、“CO₂分離回収／貯蔵・貯留”（CCS）のバリューチェーン構築に欠かせないCCS用出荷タンク設備を開発しました。2025年春から発売開始の予定です。今後も当社は産業ガスメーカーとして長年培ってきたガスコントロール技術により、CN社会の実現に貢献します。



CCS用CO₂出荷タンク設備（イメージ）

<特徴>

- ・縦型円筒タンクを複数ユニット化し、タンクは多数実績ある真空断熱2重貯槽方式を採用
- ・CO₂船向けにCO₂低温低压仕様に対応
- ・CO₂出荷時の貯槽-出荷-船舶間の運転情報(圧力・流量他)を制御・管理し、またドライアイス化防止に向け当社ガスコントロール技術を生かした安全システムを備える
- ・一般的な球形タンクと比べ、フットプリント最小化、レイアウトの自由さ等、日本の狭い立地環境に最適（球形タンクが設置不可能なスペースでも設置が可能）
- ・現地工事は製品タンクをそのまま現地に設置するだけ。球形タンクのような長期間の現地製作、溶接作業員は不要（工期の大幅短縮、省人化）
- ・真空断熱構造で連続操業可能（法的な開放検査必要無し） ※高圧ガス保安法対応

表：CO₂出荷タンク仕様

用途	CCS 用 CO ₂ 出荷設備（出荷ターミナル）	用途は幅広く対応可能
方式	真空断熱 2 重貯槽方式	高断熱性能
材質	ステンレス	耐腐食・低温対応
設計	温度マイナス 60°C / 圧力 1MPa	低温低圧仕様
貯蔵能力	単体 500ton 5,000ton（1Unit）	複数ユニット対応可能

【大陽日酸 会社概要】

大陽日酸株式会社

事業内容：酸素・窒素・アルゴン等各種産業ガス、LP ガス、医療用ガス、特殊ガスの製造・販売及び溶解機器・材料、各種ガス関連機器、空気分離装置の製造・販売、電子部品の組立・加工・検査、設備メンテナンス

創業：1910 年 10 月 30 日

設立：2020 年 2 月 4 日

資本金：15 億円

株主：日本酸素ホールディングス株式会社（出資比率 100%）

売上収益：4,143 億円*

※日本酸素ホールディングス(株)2024 年 3 月期の日本セグメントの売上収益

本件に関するお問い合わせ

大陽日酸株式会社

東京都品川区小山 1-3-26

広報部

TEL:03-5788-8015

Mail:Tnsc.Info@tn-sanso.co.jp